

科目名	社会学		
英語科目	ナンバリング	Both204	
開講期	春学期	開講学部等	経営学部
教員名	李 為	配当年次	2年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

この講義では、社会学の基本的な概念や理論、そして社会学が取り扱う対象や問題意識について学び、社会的な見方から私たちの社会生活の重要な側面について考えることを目的としています。

社会学は、社会現象を客観的に分析することを目的とする社会科学の一分野です。社会学は社会全体や社会の一部、あるいは社会現象を対象とし、社会の成り立ちや変化、社会の構造や機能、社会問題や課題などを研究しています。社会学の研究方法としては、観察、調査、比較、歴史的分析などがあります。社会的な見方は、社会現象を客観的に把握し、社会の複雑さや多様性を理解することを目的としています。他の社会科学と比較すると、社会学は広い視野で社会全体を取り扱い、社会の構造やシステム、社会変革などを重視している特徴があります。また、社会学は、社会的な現象を個人の行動や認識、集団の相互作用や文化などから説明することが特徴です。社会的な見方は、社会現象を単純な原因と結果の関係ではなく、複雑な相互関係として捉え、社会問題に対する理解を深めることができます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・その他

本講義はmoodleによるテストと課題提出の授業です。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. 社会学とは何か

社会学とは何か。高校時代の「社会」を思い出し、社会学との違いを確認する。同時に、社会とは何か、社会の構成員は誰か、人間と動物の違い、人間の本能と動物の本能の違い、人間が作り上げた世界の特徴について解説する。

2. 意味世界としての文化

前回の内容を復習し、人間が言語を用いて意味づけを行ってきた「意味づけられた世界」について、私たちがそれをどのように対処しているか、人類史における意味合いについて解説する。

3. 「鏡」に映った私とは誰か

鏡に映る「わたし」は何人なのか。鏡を他人と置き換えるとどうなるか。「わたし」の誕生は社会的文脈で考える必要がある。他者との関わりで初めて「わたし」が何者であるかが分かる。他者からの評価や態度を通して自己意識が形成される。

4. 私が確かな「私」であること

「わたし」の自己意識形成を理解した上で、この「わたし」が確かな存在かどうか考える必要がある。アイデンティティの確立条件とは何か、具体例を取り上げて解説する。

5. 人は他者に期待された通りになるか

自分は思うままに成長できるか。周囲や社会からの影響をどう受けているか。内面での葛藤を経て自己確立するのか。個人と社会の関わり方、個人の社会に対する戦略について解説する。

6. 他者に自分をどう見せるか

周囲から良い評価を得るため、他者の前でどのような振る舞いをしているか。その意味と、自己主張と自己抑制のバランスが集団生活に与える影響について解説する。

7. 正常と異常の分類

「健康」と「不健康」な食べ物の分類のメカニズムについて考えることが少ない。イスラム教とヒンドゥー教の食タブーの共通点とその意味について解説する。

8. 嘘でも真実になる人間社会

占いを信じればその通りになることがある。うわさも真実になりうる一方で、自然現象の予測は外れることが多い。これらが意味していることについて社会学の視点から解説する。

9. 生物学と社会学の接近

これまで人間社会の特有の現象を解説してきた。今回は人間の進化過程での生物学的解釈と、「こころ」と脳の関係、生理欲求と社会欲求の関係について解説する。

10. 女であること、男であること

「女らしさ」「男らしさ」が自分にとって何を意味するか。社会的に男女以外の性も存在する。性の多様性と「女であること、男であること」の意味について解説する。

11. 私たちを取り巻くルール

就活の服装ルールのように暗黙のルールと、法律のような明文化されたルールがある。なぜ人間社会にはルールが必要なのかについて解説する。

12. 私たちが宗教を必要とする理由

芸術や宗教が誕生したのは恐らく人類が死を意識し始めた時だと考えられる。宗教が人間社会にとって必要な理由、経済活動への影響について事例を踏まえて解説する。

13. 社会の貧富格差

裕福な家庭と貧しい家庭で育った子供が受験した場合、誰が有利になるか。これは社会の貧富格差と関係する。社会的成層の視点から格差と社会構造を解説する。

14. アジア的な文化と西洋的な文化

集団生活重視のアジアと個人重視の西洋では価値観が異なる。経済発展の違いもそこから生じる。両文化の特徴について解説する。

15. 社会学の歴史

これまでの内容を整理し、社会学の歴史について解説する。まず中世、近世の社会の特徴から振り返り、社会学成立の経緯を説明する。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

事前学習では受講に必要な知識・意識を身につけるため、教科書や参考書の熟読を義務付けています。事後学習では講義内容を通じて講義の目的を明確化し、「事後学習レポート」の提出を求めます。なお、事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要です。

1. 社会学はどのような学問か

事前学習: 高校の「社会」の内容を事前に復習しましょう。

事後学習: 社会学と高校社会の違いを考えましょう。

2. 意味世界としての文化

事前学習: 前回の内容を復習し、人間が意味づけを行う理由を考えましょう。

事後学習: 「意味づけられた世界」の社会的意義を事例で説明しましょう。

3. 「鏡」に映った私とは誰か

事前学習: 鏡に映る自分の姿を見て、自己イメージを考えましょう。

事後学習: 「私」と「他者」の関係を社会的にまとめましょう。

4. 私が確かな「私」であること

事前学習: アイデンティティを調べましょう。

事後学習: アイデンティティの確立について説明しましょう。

5. 人は他者に期待された通りになるか

事前学習: 「役割」を辞書で調べてメモしましょう。

事後学習: 自己成長と周囲との関わりを説明しましょう。

6. 他者に自分をどう見せるか

事前学習: 「ふり」をした経験を考えましょう。

事後学習: 振る舞いの社会的意味をまとめましょう。

7. 正常と異常の分類

事前学習: イスラム教の食事制限を調べましょう。

事後学習: 分類が思考の自由に与える影響をまとめましょう。

8. 嘘でも真実になる人間社会

事前学習: テレビ占いを確認し、的中について考えましょう。

事後学習: メディア報道の社会的視点をまとめましょう。

9. 生物学と社会学の接近

事前学習: 人体の構造を調べましょう。

事後学習: 「こころ」の進化における両者の違いをまとめましょう。

10. 女であること、男であること

事前学習: 自分の「らしさ」観を考えましょう。

事後学習: 現代のジェンダー観について意見をまとめましょう。

11. 私たちを取り巻くルール

事前学習: 私たちのルールを調べましょう。

事後学習: 集合意識と社会規範の関係をまとめましょう。

12. 私たちが宗教を必要とする理由

事前学習: 世界の宗教を調べましょう。

事後学習: 宗教が経済活動に及ぼす影響をまとめましょう。

13. 社会の貧富格差

事前学習: 貧富格差の判断基準を考えましょう。

事後学習: 機会と結果の平等の視点からまとめましょう。

14. アジア的な文化と西洋的な文化

事前学習: アジアの国々を調べましょう。

事後学習: 儒学とプロテスタンティズムの違いをまとめましょう。

15. 社会学の歴史

事前学習: 社会学の始祖を調べましょう。

事後学習: 世界地図で社会学の変遷をまとめましょう。

授業の到達目標/Expected outcome

初歩的に社会的な眼差しや思考方法を習得することがこの講義の到達目標です。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 思考力・ 幅広い教養・ 協働性・協調性・ 倫理性 | <p>専門知識・専門技能</p> <p>【経営学部 マネジメント学科】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 戦略と組織の基本知識・ マーケティングとイノベーションの基本知識・ アカウンタビリティとガバナンスの基本知識・ 基礎的なマネジメント力 |
|---|--|

履修上の注意/Special notes, cautions

授業は主として講義方式で、授業への参加度を重視します。最初の講義時に講義概要および注意点について説明を行いますので、必ず出席しましょう。

本講義はmoodleによるテストと課題提出の授業です。

受講態度が目にとると教員が判断した場合は減点の対象とします。

出席回数が全講義の2/3以上ない場合、評価は「/(出席日数不足)」とします。

評価方法/Evaluation

授業中の小テスト(50%)、事後学習課題(10%)、中間テスト(20%)、臨時試験(期末テスト)(20%)に基づいて総合的に評価します。原則として出席が3分の2に達していない者(特別な理由がある人は除く)は、成績評価の対象外となります。

質問や相談の方法/Instructor contact

研究室: 第1研究室棟853室

オフィスアワー: 火曜日(12:15~13:10)

連絡先: moodleに記載するメールアドレス

授業に関する質問や相談などがある場合は、上記時間に研究室へ訪問するか、メールで質問すること。

その他/Others

推薦読書

1. 那須壽編著『クロニクル社会学: 人と理論の魅力を語る』有斐閣アルマ
2. ブルーム(ほか)著/今田高俊監訳『社会学』ハーベスト社
3. アンソニー・ギデンズ著/松尾精文(ほか)訳『社会学』而立書房